

委員会活動の充実・強化を

11/13 議員研修会（市役所議事堂委員会室）



全 国市議会議長会からひろせかずひこ廣瀬和彦法制参事を講師にお招きし、研修会を開催しました。

研修会では、「通年議会と政務活動費」と題し、講演が行われました。

地 方自治法の改正により1年を通じて会期とすることができる通年議会について、改正前後の制度を比較し、また、すでに採用している議会を例にあげ説明がありましたが、まずは、現在の会期制で委員会活動の充実・強化を図ることも重要であるとの見解でありました。

また、政務活動費にかかる法改正後のしと使途基準などについての説明もあり、本市議会では支給されておりませんが、今後、調査・検討する上での参考となりました。



視察研修で来庁

11/6 大分県豊後高田市議会

豊 後高田市議会（議会活性化特別委員会）の方々が議会基本条例についての行政視察のため、来庁されました。

議会活性化委員会の長野委員長および衛藤（竜）副委員長から基本条例を制定した動機や制定後の状況などについて説明し、活発な質疑・意見交換がなされました。



人間は違って当たり前

11/13 合同人権問題研修会（市役所正庁ホール）

市 議会主催による合同人権問題研修会（監査委員・選挙管理委員）を開催しました。

講 師のこいけしやうたろう小池昭太郎氏（県教育庁人権・同和教育課長）より、「さまざまな差別を生みだした日本の『社会と文化の一面』」と題し、イエ意識やムラ意識などの説明や、現在各学校で取り組んでいる人権教育なども紹介していただき、更なる人権意識のこうよう高揚が図られました。



追跡!!

議会報告会

その後…

昨年開催した議会報告会で、市民の皆さまから出された質問などのうち、執行部に対して、見解を求める必要があるものについて、執行部から見解が出されましたので、その主なものについて、お知らせします。

なお、執行部の見解について議会としては、今後、執行部の取り組みの推移を継続して注視するとともに、議案として提案された場合には、慎重に審議していきます。

問 本市は高齢化が進んでおり、空き家について、どのような具体案を持っているのか。

答 本市としても空き家対策を喫緊の課題と捉え、平成24年2月から空き家バンク事業を開始した。

現在、空き家の物件登録が32件、うち成約に至ったものが13件で、うち市外からの移住が13件となっている。

また、来年度に向けてさらなる空き家の有効利用を促進するため空き家の改修に対する補助制度などの創設を検討しているところである。

問 新庁舎には、広い体育室がないということで、請願書を市に提出した。

その後、旧中央公民館は耐震調査せず、新中央公民館の補助施設に利用する方針が出された。しかし、新庁舎は完成したが、最近では、旧公民館は使えないので、考えてほしいと言われた。どうなっているのか。

答 内部協議の結果、社会福祉課が平成26年度の建設を予定している児童館の建設に合わせ、児童と公民館の利用者が一緒に使え、両者のコミュニケーションが図られる多目的ホールを児童館に隣接して新たに建設する方向が望ましいのではないかと、いうことで、「ひなたぼっこ」を児童館に転用して利用する方向性が具体化したことから、高齢者福祉課が運営している「カフェひなたぼっこ」事業を継続し、高齢者の居場所づくりなどに加え、子どもとの多世代交流が図られ、さらに多くの市民利用が期待される多目的ホールを「ひなたぼっこ」と一体的に改修、建設するという方向で関係課と具体的な協議を行っていきたいと考えている。

追跡!!

あの請願 どうなった…

平成25年第1回（3月）定例会で採択された請願2件は、執行機関に送付し、その処理の経過および結果の報告を請求していただきましたので、その結果報告をお知らせします。

●備品購入及び建設（建築含む）工事発注に関する請願

できるだけ多くの市内業者の受注機会の確保に努めるとともに、また備品購入についても、同様に市内業者の受注機会の確保に努め、本市の商工業の発展に取り組んでいく。

なお、建設工事の発注にあたり、市内業者の優先活用および豊後大野市産資材の優先使用の協力依頼文を公告文に添付しており、市内業者の育成に努めていく。

●プレミアム付き商品券発行事業に関する請願

これまでの実績と地域購買力の創出で域内消費拡大効果がもたらされ、地域商業の活性化が図られるものと判断し、第2回（6月）定例会において、補正予算で商業活性化支援事業補助金（1350万円）を計上した。